

政策体系	基本目標名	03	健やかで元気に暮らせるまちづくり	施策主管課長	健康増進課
	政策名	01	疾病を予防し健康で安心して暮らせるまちづくり		
	施策名	01	心と体の健康づくりの推進		
施策関係課	市民生活課、環境政策課、気候変動対策課、障がい福祉課、こども課、医療保険課、いきいき高齢課、感染症対策室、産業政策課、農政課、スポーツ推進課、学校教			書間 英介	

1. 施策の目的と成果把握

施策の目的「対象」	この施策は、誰、何を対象としているか	① 市人口 ② 国民健康保険加入者数 (40歳～74歳)	対象指標	単位	R4	R5	R6	R7	成果指標設定の考え方	
	① 市人口	人	115,700	-	-	-	-			
施策の目的「意図」	この施策によって、「対象」をどういう状態にするのか	①②心身ともに健康でいきいきと生活できるようにし、健康寿命、平均寿命を延伸する。 ②特定健康診査受診率の向上	成果指標 (意図の達成度を表す指標)	区分	単位	R4	R5	R6	R7	成果指標の取得方法
	① 健康づくりに取り組んでいる市民の割合	目標	%	75	75.5	76	76.5			
			② 特定健康診査 (国保40歳以上) 受診率	目標	%	34.5	35	35.5	36	① 市政に関するアンケート調査
				実績		73.5	-	-	-	② 健康増進課資料
				目標		30.6	-	-	-	③
				実績						④

2. 基本事業の目的と成果把握

基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	R4	R5	R6	R7	基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	R4	R5	R6	R7			
健康づくりの推進	① 市民	①健康に関する知識を深め、健康づくりに取り組んでもらう。	① 健康教室等参加者数 (延人数)	目標	人	4,000	4,050	4,100	4,150	健診 (検診) の受診率向上	① 市民 ② 市民 (40歳～74歳)	①②多くの市民に健診 (検診) を受けてもらう。	① 特定健康診査 (国保40歳～) 受診率	目標	%	34.5	35	35.5	36			
			② 健康サポートさの活動参加者数	目標	人	4,000	4,100	4,200	4,300				② がん検診受診率 (対象者)	目標	%	28.5	29	29.5	30			
				実績										③	目標							
				実績											④	目標						

3. 施策及び基本事業の目標達成度評価

施策	令和4年度施策の取組方針		施策の取組方針・成果指標達成状況	
	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりへの意識を向上させるため、健康マイレージ事業の推進、広報さのでの啓発、各種健康教室・健康相談での勧奨に努めるとともに健康長寿佐野づくり推進条例の制定に向け、課題の整理を行い、素案を作成する。 健診 (検診) 受診率を向上するため、関係部署と協議しながら受診勧奨事業の改善に取り組む。 各庁舎に予想最高気温を表示できるパネルの設置や、防災メール等を活用することで、熱中症予防の啓発を行う。 佐野歯科医師会と連携し、歯及び口腔の健康づくりを啓発する。 孤立・孤独を防ぐため、悩んでいる人に寄り添い、適切に関わることができるゲートキーパーを養成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりについて広報紙や各種教室等で勧奨に努めた。また、「健康長寿佐野推進条例」を策定した。 関係機関と連携し、受診勧奨に努めた。特に佐野市医師会に、既通院患者の未受診者が多いことを佐野市医師会に確認いただき、市内診療所への呼びかけを強化した。 熱中症予防の啓発のため、各庁舎に予想最高気温の掲示の他、広報紙や防災行政無線等を活用し周知した。 佐野歯科医師会と連携し、歯周疾患検診の受診勧奨に努めるとともに、健康サポートステーションや健康まつりにおいて歯及び口腔の健康づくりの指導や啓発を行った。 ゲートキーパー養成講座を開催し、46人の市民が受講した。 		
基本事業	令和4年度基本事業の取組方針		基本事業の取組方針・成果指標達成状況	
	<ul style="list-style-type: none"> 健康長寿佐野づくり推進条例を制定し、市民各自がスポーツを通じた健康づくりに取り組めるよう、情報提供や各種事業を行う。 地域で健康づくり活動を実践している「健康サポートさの」の活動に対し支援を行う。 熱中症予防対策に取り組む。 ゲートキーパーを養成する。 歯科検診やフッ素塗布などによる歯及び口腔の健康づくりやフレイル予防を通じ、健康寿命を延伸する。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康長寿推進条例を策定し、健康マイレージ事業に取り組んだ。 「健康サポートさの」の活動に対し支援した。 熱中症予防の啓発のため、各庁舎に予想最高気温を掲示し、広報紙や防災行政無線等を活用し周知した。 ゲートキーパー養成講座を開催し、46人の市民が受講した。 佐野歯科医師会と連携し、歯周疾患検診の受診勧奨に努め、健康サポートステーションや健康まつりにおいてフレイル予防も含め指導や啓発を行った。 		

基本事業名	令和4年度基本事業の取組方針	基本事業の取組方針・成果指標達成状況	基本事業名	令和4年度基本事業の取組方針	基本事業の取組方針・成果指標達成状況
健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 健康長寿佐野づくり推進条例を制定し、市民各自がスポーツを通じた健康づくりに取り組めるよう、情報提供や各種事業を行う。 地域で健康づくり活動を実践している「健康サポートさの」の活動に対し支援を行う。 熱中症予防対策に取り組む。 ゲートキーパーを養成する。 歯科検診やフッ素塗布などによる歯及び口腔の健康づくりやフレイル予防を通じ、健康寿命を延伸する。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康教室等参加者数の実績は3554人で目標4000人にとどかなかった。また、「健康サポートさの」の活動における参加者数の実績は1293人で目標4000人にとどかなかった。 	健診 (検診) の受診率向上	<ul style="list-style-type: none"> 各種健診の受診率向上のため、周知方法、申し込み方法、健診会場を検討の上、健診スタートブックを活用し、対象者全員に健診受診の勧奨を行う。 未受診者対策として、機会を捉えての健診PRや個別通知による受診勧奨、かかりつけ医との診療情報連携及び電話での勧奨を行う。 健診スタートブックの見直しや、地域での健康教室の際に直接市民に勧奨を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査受診率の実績は30.6%で目標34.5%にとどかなかった。また、がん検診受診率の実績は20.1%で目標28.5%にとどかなかった。
		<ul style="list-style-type: none"> 取組方針 <input type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成 成果指標 <input type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成 			<ul style="list-style-type: none"> 取組方針 <input type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成 成果指標 <input type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成

4. 施策の基本情報

施策の基本情報	社会情勢変化、国・県の動向、市民・議会意見等	施策の成果向上に向けての役割分担		
	<ul style="list-style-type: none"> がん等の早期発見、早期治療により、将来の社会保障費の軽減につながるから国では、特定健診、がん検診の受診率向上を図ることに対し、保険者インセンティブ (報奨金) を付与するとしている。 議会からは、人口減少、高齢化による社会保障費の増加に対応するためには、健康増進と介護予防による医療・介護費用の削減が効果的であるため、健康マイレージ事業等に取り組むよう要望された。 令和2年市区町村別生命表によると本市の平均寿命が25市町中、男22位女21位となり、平成27年度の男女とも県内最下位に比べ、若干改善した結果が公表された。 環境省では熱中症対策を強化するため、令和5年度に「気候変動適応法」を改正し、その取組を実行計画として示した。 	市民	事業所	行政
		<ul style="list-style-type: none"> 「自分の健康は自分で守る」という意識を持ち、健康づくりに努める。 1年に一度特定健診を受診する。 健康教室や介護予防教室に参加する。 定期的な運動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所は従業員の健康管理に努め、定期的な健康診査の受診の促進や特定保健指導を実施する。 メンタルヘルスの職場研修を実施する。 協力企業は関係者と協働し、市民の健康づくりに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりに関する情報を提供し、市民の健康意識の向上を図る。 健康マイレージアプリの導入を支援し、健診の受診率向上を図る。 熱中症対策を推進する。

5. 施策全体の総括・今後の課題・今後の方向性

施策の成果実績と施策の基本情報及び施策コストに関する全体総括	今後の課題	今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> 熱中症予防の啓発のため、各庁舎に予想最高気温を掲示し、広報紙や防災行政無線等を活用し周知した。今後、全庁的な取組が必要である。 フレイル予防のためには、歯周疾患検診が有効であるが、R2の受診率は3.6%であり、県平均の5.3%を下回っている状況である。 ゲートキーパー養成講座を開催し、46人の市民が受講し、H23の開始より832人のゲートキーパーを養成できた。 健康アプリを導入し、健康づくりに取り組んでいる市民の増加に努めたが、健康づくりに取り組んでいる市民の割合は目標75%に対し実績は73.5%で目標にとどかなかった。原因は市民の意識改善に対する働きかけ不足に加え、新型コロナの影響によるものであると考えられる。 平均寿命について、平成27年に比べ、令和2年は県内順位を若干上げることができた。(男性80.5歳 (+1.3歳・25位→22位)、女性86.5歳 (+1.0歳・25位→21位))。 特定健康診査受診率は目標34.5%に対し実績は30.6%で目標にとどかなかったが、年々割合は増加している。原因は、既存の周知では市民の意識改善が図れなかったと考えられる。 令和4年度中に健康長寿推進条例を制定し、令和5年度からは、協力企業との協定締結を行い、関係機関とも連携しながら、健康づくり活動を推進してゆく。 本施策の決算額は、令和3年度は17億7,649万円に対し、令和4年度は6億3,488万円、11億4,160万円の減となっている。主な要因は令和4年に新設の施策「313感染症対策の推進」に新型コロナウイルス感染症対策関係事業が移行したことによるものである。 	<ul style="list-style-type: none"> 【令和5年度で解決する課題】特になし 【令和6年度以降にも引き継がれる課題】 <ul style="list-style-type: none"> ①熱中症予防対策 ②歯周疾患検診の受診率の向上 ③自殺予防対策 【令和6年度重点課題】 <ul style="list-style-type: none"> ④健康長寿推進条例の推進による健康寿命・平均寿命の延伸 ⑤特定健康診査、がん検診等の受診率向上 	<ul style="list-style-type: none"> ①熱中症を予防するため、組織横断的な体制を整備し、情報発信の他、各種取組を実施する。 ②フレイル予防のため、自分の歯で食事がとれるよう、歯周疾患検診受診率を上げ、佐野歯科医師会や条例に基づく協力企業と連携し、歯周疾患検診の受診勧奨に努める。 ③ゲートキーパー養成講習会を継続して行い、メンタル不調者に気付ける人を増やすとともに、残された遺族や関係者へのケアを行う。 ④健康長寿推進条例に基づき、市民や企業等と協働して健康づくりを推進するとともに、健康アプリを活用し、健康寿命・平均寿命の延伸を図る。 ⑤各種検診の受診率を向上させるため、ハガキや職員の電話による受診勧奨を継続して行うほか、かかりつけ医との診療情報の連携や協力企業による勧奨を実施する。